

## 平成30年度第1回 新潟県・新潟市調整会議あいさつ(要旨)

日時：平成30年7月23日（月）13：15～  
会場：新潟県庁 201会議室

### ■ 新潟県知事 花角 英世

基礎自治体である市町村と広域自治体である県は、いわば車の両輪として連携していく、きちんと意見交換・対話をしながら課題解決に共にあたるのは当然ともいえる。その意味では、連携の場があるということは重要なことである。

特に県内30市町村あるが、新潟市は本県人口の3分の1以上を占める影響力の大きい市であり、新潟市と県がしっかりと意見交換しながら課題解決にあたっていくのは意義があること。

これまで県と市の二重行政など非効率な部分を是正していく取組の成果が出ている。昨年からは、もう少し前向きな政策連携も進めていこうではないかと、この会議の位置付けも変わってきていると理解している。

私もその方向で県と市が良好な関係で努力してまいりたい。

### ■ 新潟市長 篠田 昭

花角知事からあったとおり、これまで県と市で、二重行政の解消などの実績を積んできた。拠点性に係る議論は、県市長会・町村会で行うという整理を5年ほど前にしたが、なかなかそうした場を作れず、拠点性の議論を全県首長が集まって展開することができないままにこの数年が過ぎたと私は受け止めている。

そうした中、前知事には新潟のまちの魅力を作っていくことが拠点化だという位置づけをし、県と市と一緒に議論をして動く具体的なテーマとして万代島と新潟駅周辺を取り出していただいた。そして「まちのデザイン」が必要だということで、西村先生にお力をいただくという方向性が昨年8月の会議以降にできていた。

新潟市のまちの魅力を作っていくことは市として取り組むし、県の意見も十分にいただきたい。そこに加えて、空港、港湾、交通体系も拠点性向上の非常に重要な要素だと思うが、これらはまさに花角知事の得意分野。ここを具体的に議論できる体制を早期に作ってほしい。またこれは全県の問題でもある。県市長会・町村会が作った拠点化・活性化の3つの部会と県市調整会議と両方活用いただけるとありがたい。

活性化は喫緊の課題であるが、交流人口拡大はインバウンドを含めてこれも花角知事の得意とする分野であり、県民、首長の期待も高まっているだろう。県市調整会議が花角新知事のもとで行われるのは非常に意義があり注目度が高いものと思う。